

# 「相模原市産業集積促進条例の改正（案）の概要」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

## 1 概要

相模原市産業集積促進条例は令和2年3月31日で失効するところですが、引き続き、本市の産業集積基盤の強化、持続可能な都市経営に資するとともに、次代の産業を見据え、戦略的な企業誘致が必要であることから、適用期間を延長するとともに、現行の奨励措置を見直すため、条例の改正を行います。

この度、条例の改正に当たり、市民の皆様からのご意見を募集いたしました。

その結果、1人の方から4件のご意見をいただき、お寄せいただいた御意見の趣旨及び本市の考え方を次のとおり公表いたします。

## 2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 令和元年12月10日（火）～令和2年1月16日（木）
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページ、産業政策課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター（城山・橋本・本庁地域・大野南まちづくりセンターを除く）、各出張所、各公民館（沢井公民館を除く）、各図書館、市立公文書館、広報さがみはら

## 3 結果

### （1）意見の提出方法

意見数		1人（4）件
内 訳	直接持参	人（ ）件
	郵送	人（ ）件
	ファクス	1人（4）件
	電子メール	人（ ）件

### （2）意見に対する本市の考え方の区分

- ア：相模原市産業集積促進条例の改正（案）に意見を反映するもの
- イ：意見の趣旨を踏まえて相模原市産業集積促進条例の改正（案）の取組を推進するもの
- ウ：今後の参考とするもの
- エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）

( 3 ) 件数と本市の考え方の区分

項 目		件数	市の考え方の区分			
			ア	イ	ウ	エ
	リーディング産業に関すること	4	0	0	4	0
合 計		4	0	0	4	0

( 4 ) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
1	リーディング産業から食品加工業などを外し、ロボット工業、航空宇宙産業に特化することは、製造業の多様性を失わせるもので、反対。	これまで13業種をリーディング産業と定めておりましたが、今回の見直しでは、選択と集中を意識し、本市の産業集積基盤の更なる強化をより戦略的かつ効率的に実現していくため、リーディング産業を2業種とし、それ以外の業種につきましては、産業の多様性確保も必要となることから、不均一課税及び奨励金交付による奨励措置の適用としていくところでございます。	ウ
2	リーディング産業の業種を2つに絞ることが、なぜ、「本市の産業構造との親和性がある」のか不明。そのような産業構造に一面化してはならない。	また、相模原市内の製造業に係る企業は、金属加工業や電子部品製造業等が多く、ロボット産業と親和性の高い企業が集積していることから、市といたしましては、産業用ロボットの導入による企業の生産性向上等を促進する施策を講じているところであり、併せてロボット関連企業の市内への誘致を促進することで相乗効果が生まれ、本市の基幹産業である製造業全体の競争力強化に繋がるものと考えております。 今後、宇宙産業は成長が見込まれるとともに、市内にあるJAXA相模原キャンパスや航空宇宙産業に関わる企業が立	ウ

		地していることから、こうした優位性を生かした企業を集積していきたいと考えております。	
3	航空宇宙産業とは何か？どのような企業を誘致しようとしているのか？	衛星やロケット等の宇宙機器の製造をはじめ、衛星データやA I等の先端技術を活用した宇宙利用産業に関わる製造業の企業等の立地を想定しています。	ウ
4	政府は、航空自衛隊を「航空宇宙自衛隊」に改称する動きがある。「中国やロシアが宇宙空間の軍事利用拡大させている中、自衛隊としても人工衛星の防護など宇宙空間での防衛力強化方針を明確にする必要がある」とし、20年度に宇宙作戦隊を新設する。航空宇宙産業を「積極的に誘致を行う」ことは、市が、総合補給廠のミサイル司令部やキャンプ座間とともに、戦争に巻き込まれる危険性を強める暴挙である。撤回を要求する。	今後、宇宙産業は、新たな宇宙サービスの創出により、様々な産業の生産性向上や競争力強化に寄与するなど経済成長が見込まれております。 市といたしましては、市内にあるJAXA相模原キャンパスや航空宇宙産業に関わる企業が立地していることから、こうした優位性を生かした企業を集積していきたいと考えております。	ウ